

[3月10日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

幼・小学1年参考手本

小二
阪本泉

木

石井明子先生

小二

モマ
リ

いとうめい

大町青蓮先生

小一
かせかずみ

れ

加瀬澄春先生

小一
たなかりく

な
む
わ

大平邑峰先生

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

小四 活気

元木有里

種谷萬城先生

小学3年参考手本

小三 生きる

田中幸子

恒次鶴城先生

小四 竹馬

江川悠

竹馬

小川弘舟先生

小三 いうすぐ

山中里花

板垣洞仙先生

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

将来

小六

群山仁

廣瀬舟雲先生

小学5年参考手本

果物

小五
山根心汰

名越蒼竹先生

小六

卒業写真

田中小夏

坂本素雪先生

小五

赤石大星

伝統

田中扇溪先生

〔3月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

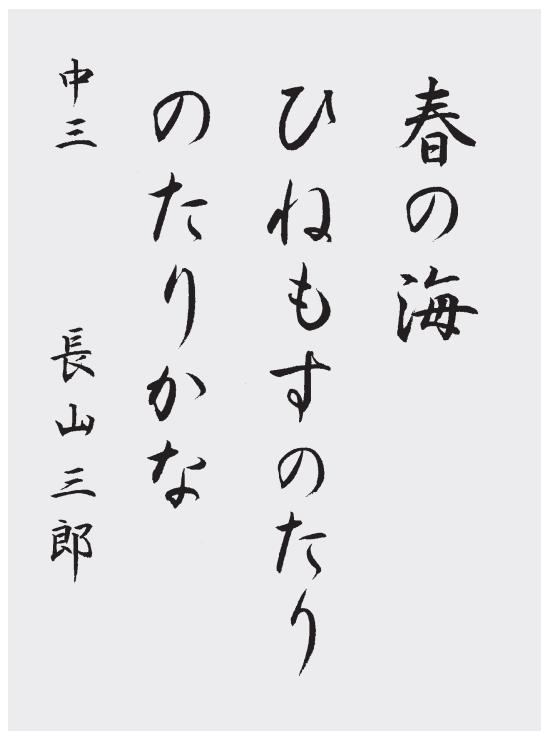
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



尾形澄神先生



崎井惠風先生



小竹石雲先生



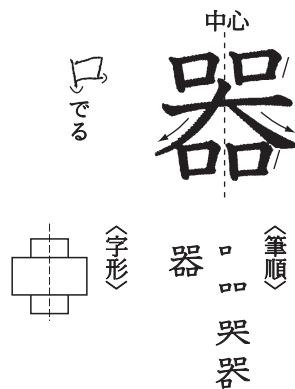
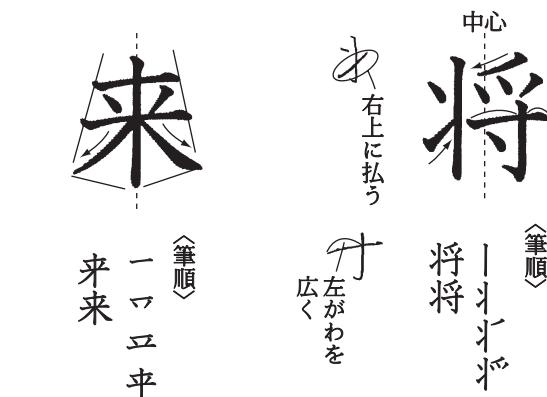
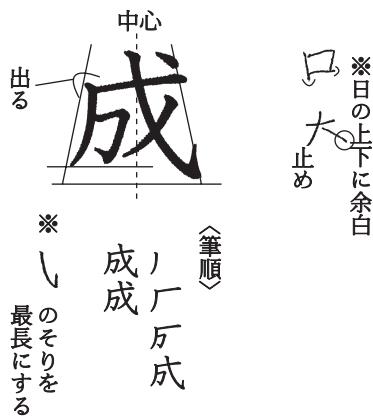
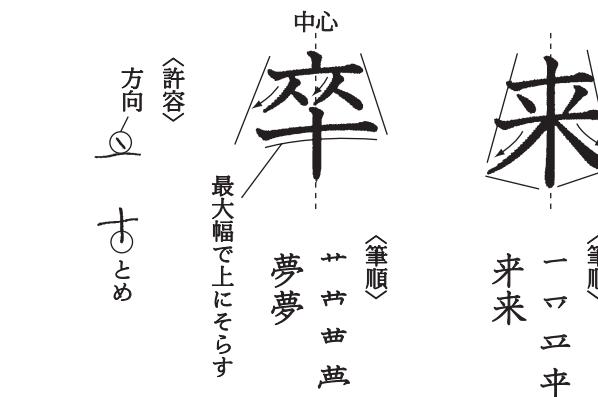
辻元大雲先生

毛筆参考手本解説(2)

6年

中学

やさしい行書



春の海
ひねもすのたり
のたりかな

作者: 与謝蕪村

訳: うららかな春の日、海は一
日じゅうのたりのたりと、
おだやかにうねっている。

書写のポイント
漢字かな交じり文は、漢字より
ひらがなをやや小さくする。
紙面の構成も工夫して下さい。

ひらがなの字源 (329)

な	か	り	た	す	も	ね	ひ	の	乃
奈	加	利	太	寸	毛	称	比	比	乃
奈	加	利	太	寸	毛	称	比	比	乃
奈	加	利	太	寸	毛	称	比	比	乃

※ 源字については、異字体から変遷したものに*印をして()にその字体を記した。

※ 字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

[3月10日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学2年

幼・小学1年

支部名	ん	
段・級	車	公園
学年	が	に
二	あり	大き
名前	ま	な
山村力	し	き
	ま	か
	た	
	。	

支部名	花	
だん・きゅう	が	ば
がくねん	さ	ら
一	い	く
なまえ	た	し
くぼたかりん	。	て



ながく
よこかくのあいだ

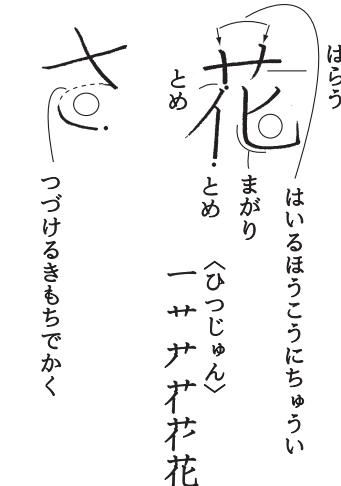


かく
あいだ

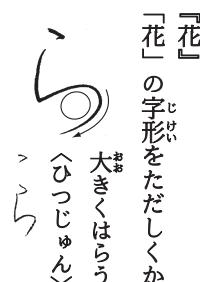


左の「はらい」の長さ
「ム」のいち

『きかん車』
「園」の字形をたやすく書きましょう。
『公』の字形をたやすく書きましょう。



はらう
とめ
まがり
ひつじゅん
ひつじゅん
一サササ花花



大さくはらう
ひつじゅん
ひつじゅん

『花』

「花」の字形をたやすくかぎましょう。

[3月10日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年

小学3年

支部名	こと	見	工	な	雪
段・級	が	学	場	が	ど
学年	分	す	や	れ	け
四	か	る	博	だ	水
名前	り	と	物	し	が
小田原周平	ま	い	館	ま	谷
	す	ろ	な	し	川
	。	ろ	ど	た	に
		な	を		

支部名	な	な	雪		
段・級	が	れ	ど		
学年	れ	だ	け		
三	だ	し	水		
名前	し	ま	口		
水口小雪	ま	し	小		
	し	た	雪		
	。				

館

とめ

物

とめ

博

筆順

ななめ分間とはらいの方向に注意
点の位置に注意

『見学』

「へん」と「つくり」の組みあわせに気をつけ
て書きましょう。

川

とめ

谷

とめ

雪

『雪』
漢字は正しく書きましょう。

よこができる

下がてる

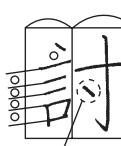
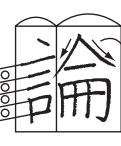
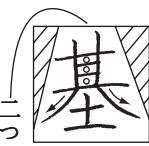
[3月10日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年

小学5年

支部名						
段・級						
学年	六					
名前	丸岡 七聖					
つ い て 説 明 し ま し た	税 金 の 基 本 的 な 問 題 に	討 論 会 で 、 政 治 家 が	の 前 で 話 す と き は 、 共	式 や 会 議 で 多 く の 人		

支部名						
段・級						
学年	五					
名前	大江 美月					
通 語 を 使 い ま す	論 議 を 使 い ま す	の 前 で 話 す と き は 、 共	式 や 会 議 で 多 く の 人			



〔討論会〕

字形を正しく書きましょう。

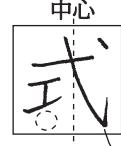
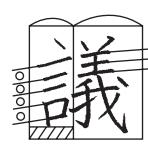
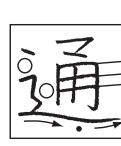
※一画目の点は二画目にはつけない
点の位置に注意

〔筆順〕
言論論論論論

〔筆順〕
其其其其其其甘甘甘甘基

一つのたて画の始筆の位置に注意
横にあまり広げない

横にあまり広げない



中心

〔共通語〕

筆順に気をつけて、文字の外形を整えましょう。
長さと角度に注意

〔筆順〕

議議議議議議議議

〔筆順〕

式

〔筆順〕
一ニエ式式

〔筆順〕
内角角角角角

[3月10日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生(行書)

中学生(楷書)

支部名	
段・級	
学年	
中三	
名前	
福田	陸人

美しい故郷の景観を遺そそうと
する人々の努力が世界遺産への
道につながったのです。

(行書) やさしい行書

美しい故郷

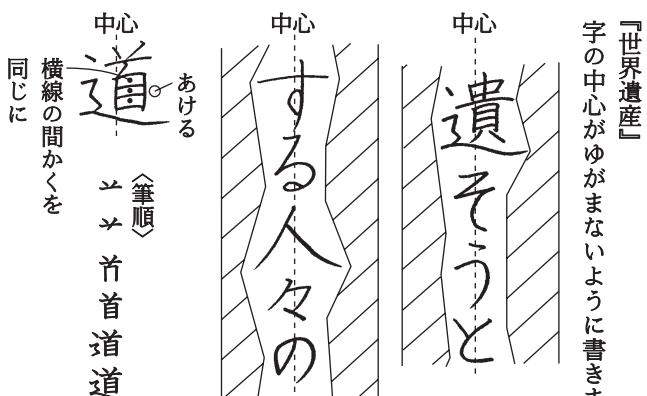
〔かな〕を書く
〔かな〕を書く

(楷書) 美しい故郷

※漢字かな交じりの文章はかなを
やや小さく書く。

支部名	
段・級	
学年	
中三	
名前	
福田	陸人

美しい故郷の景観を遺そうと
する人々の努力が世界遺産への
道につながったのです。



『世界遺産』
字の中心がゆがまないよう書きましょう。

これからのおとぎ話と課題

4月号～9月号までの作品締切日と毛筆課題

小 5
心く
を、身
に向少し
け回り
て広い
みだ
よ世界
うで
。には
関な

幼・小1
ああ
さか
ひる
だい

小2
竹春
や風
ぶに
がふ
ゆか
れるれ
。て、。

小3
び三
を角
しま公
た園
まで
わな
とわ
とと

小4
を湖
照に太
ら面陽
しし高
てた高
い林く
るのの
。上ぼ
のり、
雲

小 6
記年
録。小
を思
作り出
りたに
い残して
。る最
習の学
の後
の

中学生
一つひとつ
の星の輝
きが違う。
ようによ
うに、私
たちの胸
から羽ばた
こうとする夢は異なる。

4月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

中学生 (全学年共通)	小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日
の花盛り	物語	友情	交流	マス目	心	くも	つ
あはるばの	明鏡止水	広場	平和	台形	十日	ことり	いろ
活動	感激	効果	必要	共同	大小	ほん	て
づくものい	純真な心	ポイント	成長	ふれあい	友人	さつき	こと
探明日を	地層	熱気	天体	左右	花	つばさ	け
のここれる	異口同音	海開き	雨宿り	土地	山里	えのぐ	りす
波打ち際	適切	健康	参加	パンダ	人口	はいく	の
蝉の声	岩にしみ入る	宇宙遊泳	文化財	林間	七色	千本	さんご
歩砂く浜を	湖畔	道路	思いやり	節水	青い	こかげ	ろ
水の音	北斗七星	船乗り	海底	美しい	上下	ハム	にじ
三平安の	遣唐使	美術	馬車	平行	月見	むすび	ま
ふく	あきかぜぞ	無我夢中	心構え	読む	虫のこえ	おんぶ	ふえ

書きを知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部児童教育学科長・教授、全国大学書写道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「明解・書写教育」などがあります。

第24回 小学校での学習漢字・筆順

「書き順」と「筆順」。意味はどちらも同じで一般では「書き順」という語の方が多く用いられます。が、学習指導要領では「筆順」という語で示されています。小さい子供たちには、「かきじゅん」という方が、耳から音を聞いただけで理解しやすいため、なじみやすいという理由からそのまま大きくなつても用い続けているから

だと思います。しかし正式には「筆順」の方が教育現場における用語としては正しいということととなります。

今回から小学校で学習する筆順について述べます。次の漢字の矢印を付けた箇所（太くした画）の筆順は、何画目でしょうか。小学校一年生で習う漢字から選びました。



これらの漢字を書くことは簡単でも改めて筆順となると、「どうだつたっけ？」と悩む人もおられることがあります。全部正解できましたか。

次回からなぜそうなるのか解説していくと思

《答え①1②2③1④2⑤6⑥7⑦1⑧1⑨2⑩3⑪2⑫7⑬8⑭6⑮7⑯1⑰1⑲5⑳3㉑4》

います。

(ひづく)

今月のホープ

小六



じっくり落ち着いた筆運びと構えの大きさが立派です。点画のバランスもよく名前もていねいで堂々と書けています。

支部名	初香
段・級	特待
学年	中三
氏名	閔口真佑

我が国における二度目の東京オリンピック開催に向けて準備が進む。二〇二〇年が楽しみだ。

漢字とかなのバランスが良く、名前迄の一貫した流れも見事。懐が広い安定感のある字形と余白の美しい作品です。

小六

孫千尋（泰香社支部）



おお構えが大きく、リズムを加えます。くわ中心の余白も見事に書けました。名前も一字ずつとても丁寧で美しいです。

中三 閔口真佑（初香支部）

支部名	圓菊
段・級	
学年	五
氏名	大嶋咲月

輸入しています。

濃い鉛筆を使い、厚味と豊かさのある作。字形正確で、ハネハライも美しく、マス目一杯に堂々として立派です。

小一川崎七海（福山塾支部）

小五 大嶋咲月（白菊書支部）

漢字に親しもう

(10)

今日は中学生の硬筆課題から「遺」を取り上げます。「遺」は小学6年生で学習する漢字です。

日本の書道文化をユネスコの無形文化遺産に登録しようという活動が進められています。本紙の表紙右下にも応援のロゴマークを載せていました。

遺

かん
じ

15画

音	イ・ヨイ
訓	くん
部首	宀
画数	15
筆順	一 ロ ヨ シ 丶 靑 靑 靑 靑 靑 靑 靑 靑

貴*（めだつ）と「（すすむ）とを合わせた字。
人の目につくようなものをおいて、去っていくこと。
①あとにのこす。
②うしなう。する。わされる。（小学館 例解学習漢字辞典より）

解説
「遺」は書きまちがえやすい字として「遺ケン」という漢字があります。
書写の時に充分注意して下さい。

横線を長めに

横線と横線の
間かくを同じくらいに



〈許容〉



はなす

（豪峰）

○第70回記念全国学生書道展の成績表（上位入賞）を掲載させていただきました。本誌を購読していただいている団体や個人の方が数多く載っていました。知っている名前を見ると頗る張っているなとうれしく思います。

来年の71回展には今回出品出来なかつた団体や個人の皆さんへの参加をぜひお願いします。

○中学生で、卒業しても書道を続けたいと思つてゐる皆さんに「書道芸術」（高校生以上の方が対象）誌を紹介します。この競書雑誌は個人でもできます。興味を持った方は見本誌を送りますので、事務所までお問い合わせください。

用集会録